



共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

拠点校Ⅰ (本宮市立本宮第一中学校)	実践の具体的な内容	取組による成果
	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ タブレットで撮影した友人等の動画を基に、現在進行形を用いて紹介や問答を行った。また、多様な帯活動を取り入れ、基礎基本の定着を図った。</li> <li>□ ALTに本宮市のことを知ってもらうために、相手の願いを踏まえながら、お勧めのものについて紹介をした。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動画の利用は現在進行形を用いる必要感を高めた。既習事項の定着を図る上で帯活動は効果的だった。</li> <li>○ イメージマップを活用し思考を言語化できるようにしたことで、即興的なやり取りができるようになった。</li> </ul>
拠点校Ⅱ (本宮市立本宮まゆみ小学校)  	<ul style="list-style-type: none"> <li>□ タブレットを使って、修学旅行の思い出を発表し、グループのメンバーと簡単な英語でやり取りをする活動を行った。</li> <li>□ Google Driveに共有フォルダーを作り、小中学校の実践について交流を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ タブレットの録音機能を使い、自分が納得するまで練習し、自信をもてたことで、友だちとともに楽しみながらやり取りをすることができた。</li> <li>○ 気軽にワークシートをアップロードし、お互いの実践の交流を行うことができた。</li> </ul>

共通テーマ 「豊かな言語活動を通じた、小中連携の授業のあり方～英語による発信力の強化を目指して～」

協力校

(本宮市立本宮小学校)

実践の具体的な内容

取組による成果



- 友だちと一緒に、写真を紙芝居のように使って小学校の思い出を英語で話し、簡単な英語でやり取りする活動を行った。
- 言語活動を十分に行いながら、英語を書く活動を段階的に取り入れた。

- タブレットの写真や原稿を基に、自分の体験について英語でやり取りすることで、児童のワクワク感を高めることができた。
- 音声に慣れ親しんだ英語をなぞったり、書き写したりすることで、英語を書く抵抗感を減らし、楽しく活動することができた。